

平成20年度事務事業評価表

作成日：平成20年9月9日

評価対象年度：平成19年度				管理	5-20-1-2
事務事業名 市営住宅管理事務事業				部等名	産業建設部
予算科目	会計	科目コード	予算細目名	課等名	建設課
	一般	01-080501002	細々目名	住宅管理事務事業	係等名
政策体系	基本目標	5	安全・安心な環境のまちづくり		
	施策	20	住宅・住環境の整備		
	基本事業名	1	市営住宅の維持管理		

事業概要 実施内容	市営住宅の管理、および入居者、退去者の適正管理。				
根拠法令等	公営住宅法、本宮市営住宅条例		事業の種類	<input type="checkbox"/> 維持管理事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他事業	
			評価区分	<input type="checkbox"/> 事前評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事後評価	

重点事業区分	<input type="checkbox"/> 重点事業	事業実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 期間限定(年度 ~ 年度)			
決算額	1 報酬	0円	11 消耗品費	14,360円	15 工事請負費	6,772,500円
	7 賃金	0円	12 役務費	1,083,875円	18 備品購入費	0円
	8 報償費	0円	13 委託料	1,649,130円	19 負担金補助及び交付金	25,000円
	9 旅費	0円	14 使用料及び手数料	1,019,411円	合計	10,564,276円

1. 事務事業の現状把握 (Do)

(1) 事務事業の目的と手段

対象(誰を、何を)		市営住宅入居者。			
手段(事業の具体的な内容、手順等)		公募による入居手続きの適正管理。			
意図(対象を、どのような状態にしたいのか)		公営住宅事業の適正かつ円滑な管理を行い、安心して住める環境を保持する。			
		活動指標名・式(アウトプット)	活動の大きさを表す指標		
		指標(1) 名称	市営住宅管理戸数		
		指標(2) 名称	市営住宅家賃等使用料		
		成果指標名・式(アウトカム)	意図の達成度を表す指標		
		指標(1) 名称	住み替え補償件数		
		指標(2) 名称	市営住宅としての用途を廃止し払い下げの件数		
事務事業を実施(意図を実現)することで、施策にどのように貢献していますか					
安心な生活ができるよう住環境を保持する。					

(2) 指標・総事業費の推移

区分	単位	年度(実績)	年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込み)	年度(最終目標)
指標	活動指標(1)	件			390	390	
	活動指標(2)	千円			62,131	62,000	
	成果指標(1)	件			1	1	
	成果指標(2)	件			0	0	
投入量	事業費	国・県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円			363	855
	事業費計(A)	千円			363	855	
	人件費	職員数	人			0.9	0.9
人件費平均額(年)		千円			8,373	8,373	
	人件費計(B)	千円			7,536	7,536	
	総事業費(A+B)	千円			7,899	8,391	

(3) 事務事業の環境変化・市民の意見等

、事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか?
入居者の就業状況の悪化等により、家賃の滞納が増加傾向にある。また、平成10年から定額家賃から収入に応じた家賃設定に改正され、更に、平成21年から大幅な入居基準の引き下げが予定され、更なる滞納が懸念される。
この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?
入居者のモラルの低下が顕著で近隣者とのトラブルや団地内の自治活動を拒否する者もいる。

2. 事務事業の評価 (Check)

[目的妥当性評価]		
施策体系との整合性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	市が行なう必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	対象・意図の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】
この事業は、効率的な維持管理と公正な家賃設定により家賃収入が見込まれ、財政健全化に貢献する。	公営住宅法及び市営住宅管理条例に基づく入居審査が必要であるため、他団体では公平性が維持できない。	市営住宅の内容を公表できるため、対象・意図は妥当である。
[有効性評価]		
成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】	事業の中止・廃止による影響 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	類似事業との統廃合の可能性 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
空き屋対策と家賃徴収の分野においては向上の余地があるが、トイレの水洗化など環境改善が必要。	市営住宅の適正管理戸数に縮減はあっても中止・廃止はあり得ない。	類似する事業はない。
[効率性評価]		[公平性評価]
事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	受益者負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
現状維持で削減の余地なし。		市営住宅において受益者負担の考えはなじまない。

3. 評価結果の総括と今後の方向性

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	住宅の管理運営上、入居者との関わりに多くの労力がさかれるため効率的な事務処理がもとめられるが、全体的には適切な運営が行われている。																					
(3) 今後の事業の方向性	(5) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(4) 改革改善案の概要																						
管理戸数の検討と滞納対策。																						
(6) 改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策																						
市における適正な管理戸数と用途廃止後売却。滞納対策には契約期間を設定し、契約更新時に滞納の整理。又は、明け渡し要求するなど体制作りが必要。																						

4. 事務事業の2次評価結果

2次評価対象

2次評価対象外

(1) 2次評価者としての評価結果	(2) 評価結果の根拠と理由																					
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある																						
(3) 今後の事業の方向性 (改革改善案)	(4) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) その他、2次評価会議で指摘された事項																						